

資料No.2

江田島市交流定住促進協議会
令和 7 年 3 月 2 6 日

令和 7 年度江田島市当初予算について

1 現状及び今後の取組について

令和 4 年度の空き家バンク成約件数及び移住世帯・移住人数は過去最高値となったが、令和 5 年度は、地方回帰志向の波から再び東京一極集中型の傾向も見られはじめ、落ち着いた印象を受けた。令和 6 年度については、コロナ禍の収束後、都市圏ではテレワーク推進から、徐々に従来の働き方に戻る動きも出てきており、移住フェアでの相談においても、「仕事・就職」に関する相談割合が高くなるという傾向が見られた。

昨年度に続き、空き家バンク登録申請の相談が多かったため、「hodohodo」での物件更新の頻度は保ちつつ、地域イベントや取組の紹介などくらしの様子が見えるような情報発信に努めた。

令和 7 年度には、子育て世帯に強く訴求するため、新たに SNS を活用したショート動画などの移住後の生活がよりイメージしやすくなるような情報発信や、「hodohodo」への流入促進の仕組み化及びユーザー属性の情報収集・分析の強化で、さらなる認知度の向上に取り組んでいく。

また、引き続き、移住交流拠点施設「フウド」を主体に空き家バンク内覧案内、移住相談、移住者と地域住民との交流など、幅広く移住・定住を促進する取り組みを行う。

2 内容（予算額の（ ）内は前年度当初予算額）

事業名	項目	内 容	予 算 額
交流定住 促進事業	市交流定住促進協議会 補助金	フウド事業を始めとする市交流定住促進協議会事業に関する費用を補助する。	8,350 千円 (7,272 千円)
	ポータルサイト・空き 家バンク V R 運営費	市内の空き家物件情報をポータルサイトに掲載し、移住希望者へ移住関連情報を総合的に提供する。サイト及び V R 運用に係るサーバー管理料。	291 千円 (291 千円)
	移住・定住支援補助金	定住目的の転入者が、居住用の自宅を新築した場合に費用の一部を補助する。(上限額 300 千円) 市内の民間賃貸住宅に市外から移住の子育て世帯に対し、補助金を交付する。(上限額 120 千円) 移住検討時の片道交通費や宿泊費を補助する。(上限交通費 20 千円、宿泊費 5 千円)	3,200 千円 (3,740 千円)
	移住定住フェア出展及 び会議等出席のための 旅費	首都圏開催の県定住フェア等に参加し、本市の P R 及び移住希望者への相談対応等を行うための旅費。移住定住、空き家活用関連会議出席のための旅費。	318 千円 (324 千円)
	移住・定住促進 P R コ ンテンツ作成業務委託料	子育て世帯に訴求するための効果的な情報発信策として、新たな SNS コンテンツを民間事業者と連携して作成する。	500 千円 (0 千円)